



## 合鹿製紙有限会社様に対する 『114 サステナブルベーシックローン』の実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は2026年5月15日（金）、三島支店取引先 合鹿製紙有限会社（愛媛県四国中央市 代表取締役 曾我部 秀樹）に対し『114 サステナブルベーシックローン（※1）』を実施しましたのでお知らせします。

今回、合鹿製紙有限会社は、『平均給与額の増加率』を SPTs（※2）に決めました。当行はお客様の企業戦略に即した SPTs の達成状況に応じて貸出金利を優遇することで、目標達成に向けた動機付けを行い、サステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客様の SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1）環境・社会課題の解決に資する取組みを、自社の実績を基準に目標値を設定し、達成状況に応じて貸出金利を優遇する当行独自のローン商品。第三者評価機関からのセカンドオピニオン取得が必要となる、サステナビリティ・リンク・ローンに比べ、多くの企業が取組みやすい設定としている。

（※2）Sustainability Performance Targets（環境や社会課題に対しポジティブな影響をもたらす企業目標）

### 記

#### 1. 企業の概要

会社名 合鹿製紙有限会社  
所在地 愛媛県四国中央市寒川町 2523  
業種 紙製品製造業

#### 【サステナブルな取組み】

当社は、“紙のまち”として全国に知られる愛媛県四国中央市を拠点に伝統的な手すき和紙の製造・販売を行う会社として創業しました。その後、機械抄きへと移行を遂げ、現在は、色京花紙（※3）および書道半紙を主力製品として製造・販売しております。なお、当社は色京花紙の生産量において全国トップシェアを誇ります。今後もお客様の信頼と感謝を大切に、ご満足いただける製品づくりに邁進してまいります。

今回、「平均給与額の増加率」を SPTs に設定することで、より従業員がいきいきと働けるウェルビーイングな職場環境の実現をめざしてまいります。

（※3）運動会やお祭りなどの飾り付け（ペーパーフラワー）で使われる薄く柔らかい紙



#### 2. SPTs について

平均給与額の増加率（対前期比）

以上